

プレスリリース

TOKYO, APRIL 2019



Japan Creative Exhibition

Milan Design Week 2019

9 April – 14 April, 2019

Palazzo Litta

Corso Magenta, 24, 20121 Milan

ジャパנקリエイティブとは

「ジャパנקリエイティブ」は、日本の美意識を育んできたものづくりの精神とそれを支える創造性を、国内外に発信する活動を行っています。活動の中核となるのが、伝統や地域性、独自の発想力に根ざした技術や素材をもつ日本各地のマニファクチュアと、世界の第一線で活躍するデザイナーを繋ぎ、ものづくりを行うプロジェクトです。2011年、岩手県盛岡の南部鉄器のマニファクチュア「及源鑄造」とジャスパー・モリソン氏によるプロジェクトからスタートし、2012年のミラノデザインウィークで6プロジェクトを発表して以降、毎年世界各地でその成果を発表してきました。これまでに24のプロジェクト（進行中のプロジェクト含む）に取り組んでいます。

どのプロジェクトにおいても、デザイナーたちは、日本で培われた技術や素材に敬意を持ち、マニファクチュアの個性を的確に捉えながら、常識にとらわれないアイデアを投げかけます。マニファクチュアは、それを実現すべく、自らの知恵も加えながら、技術や素材のちからを探り発揮させます。新たな可能性が拓かれていく真摯なコミュニケーションの積み重ねこそが、ジャパנקリエイティブの意義でもあります。

2019年のミラノデザインウィークでは、2つの最新プロジェクト（JC23・JC24）を披露いたします。どうぞご注目ください。

カンディハウス [北海道・木工家具] × ロウエッジズ Raw-Edges

R&D 倉本仁

“Crust”



豊かな木材から発想する要素を統合した新しい家具

北海道には美しい森林がある。その良質な資源をそばに持つ旭川で木工業が盛んになったのは自然なこととも言えるが、この地で生産される家具が「旭川家具」として世界的にも信頼されるに至る背景には、資源の力だけでなく、人の情熱がある。技術を育て受け継ぐこと、先端機械を生かすこと、デザインを追求すること、そして木を尊ぶことへの情熱が、惜しみなく注がれ続けている。この精神を築いた家具メーカーのひとつがカンディハウスだ。熟練の手仕事と最先端の機械加工を駆使しながら、限られた天然資源をできるだけ無駄にせず美しい家具をつくる工場を目の当たりにしたロウエッジズ(Raw-Edges)は、ここで50年かけて培われたカンディハウスの個性を核にしなが、今だからこそできる新しい表現を探ることを考えた。丸みのあるフォルムに落ち着いた色彩が施された家具シリーズは、カンディハウスの製品群において新鮮味を静かに放ちながらも、馴染む存在になるはずだ。



カンディハウス

北海道・旭川に本社、工場を構える家具メーカー。1968年の創業時から、できる限り北海道の木材を使い、和の美意識から生まれるデザインと繊細な機能を持ち合わせた美しい家具をつくっている。

www.condehouse.co.jp



ロウエッジズ Raw-Edges

2007年にヤエル・メール(Yael Mer)とシャイ・アルカレイ(Shay Alkalay)がロンドンを拠点に設立したデザインスタジオ。遊び心と好奇心を欠かさないアプローチから生まれる色、柄、動きのあるデザインが真骨頂。| www.raw-edges.com

桐山製作所 [東京都・実験用ガラス] × フォルマファンタズマ Formafantasma

R&D 田淵智也

“Kiryama”



実験精神がもたらした機能美の転換

化学、バイオ、医薬、食品、香料、機械、ITなど、あらゆる分野で日々行われている研究開発に使用される理化学用ガラス器具を製造する桐山製作所。カタログには手描きの器具の図が無数にあり、工場内の製品テストを兼ねた実験室には常に何かしらの実験の痕跡があって、研究開発の現場への責任と熱誠に満ちている。ホウケイ酸ガラスを使用する器具は、耐久性や精密さを兼ね備えることは不可欠条件で、さらに、実験の手法や内容、目的に応じた形状と機能が求められる。そこで培われるのが、切る、曲げる、繋ぐといったガラス細工の技術。この技術を日常使いのプロダクトにも展開できるはずと、フォルマファンタズマ (Formafantasma) とのものづくりが始まった。自らの製品やデザインがもたらす現象への興味を原動力にする両者の実験精神が合わさってできあがったガラスのシリーズは、要素はシンプルだけれどおかしさがあり、小さいけれど思わず触れたい個性を醸し出す。



桐山製作所

理化学用ガラス器具の製造会社として1948年に東京・東日暮里で創業。特注製品にも積極的で、臨機応変な技術力とひたむきさにより、研究開発の現場のみならず幅広い信頼を得ている。

www.kiriyama.co.jp



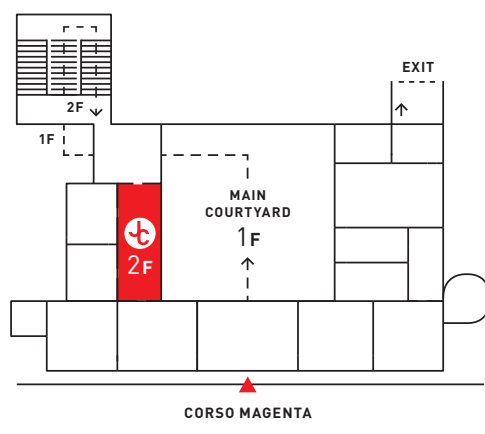
フォルマファンタズマ Formafantasma

イタリア人の Andrea Trimarchi と Simone Farresin がアムステルダムを拠点に設立。素材の探究、文化や伝統に重きを置いた発想、必ずしも機能を最優先にしない実験的な姿勢によるデザインが注目されている。 | www.formafantasma.com

Japan Creative Milan 2019

会期 2019年4月9日(火) – 4月14日(日)
10:00 – 20:00
* プレスプレビュー 2019年4月8日(月)12:00 – 19:00

会場 パラッツォ・リッタ2階 Gallery 2
Palazzo Litta : Corso Magenta, 24, 20121 Milan
* Palazzo Litta では「The Litta Variations – OPUS 5 2019」
というテーマのもと約20の展示が行われます。



プレスお問合せ 増崎真帆(ジャパНКリエイティブ事務局)
03-3409-5546 jcinfo@hiromuradesign.com

発表プロジェクト JC 23 カンディハウス (北海道・木工家具) × ローエッジズ Raw-Edges
JC 24 桐山製作所 (東京都・実験用ガラス) × フォルマファンタズマ Formafantasma

一般お問合せ ジャパНКリエイティブ事務局(廣村デザイン事務所内)[増崎真帆・谷口哲子]
Tel. 03-3409-5546 E-mail. Jcinfo@hiromuradesign.com

一般社団法人 ジャパНКリエイティブ
ADDRESS 〒107-0062 東京都港区南青山6-11-8 MAKフラット | URL www.japancreative.jp

一般社団法人「ジャパНКリエイティブ」が委託を受けて管理し、ジャパНКリエイティブ展で展示され、
または展示されることが予定されている作品(以下「本作品」といいます。)に関する日本および
全世界における知的財産に関する権利は、これをデザインしたデザイナーに全て帰属しています。
また、本作品に関する展示・出版についての権利は、デザイナー及びジャパНКリエイティブが保有しています。